

**平成26年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会  
第1回緑区役所部会議事録**

**1 日時：**平成26年7月8日（火）9：30～11：30

**2 場所：**緑区役所 5階 会議室

**3 出席者：**

**(1) 委員**

木頭信男委員（部会長）、小川真実委員（副部会長）、鶴見泰委員、豊田洋祐委員、森山源次委員

**(2) 事務局**

大野緑区長、渡辺地域づくり支援室長、安藤主査、藤崎主任主事

**4 議題：**

(1) 平成25年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市土気あすみが丘プラザについて

イ 千葉市緑区鎌取コミュニティセンターについて

(2) その他

**5 議事概要：**

(1) 平成25年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について

ア 千葉市土気あすみが丘プラザについて

平成25年度に千葉市土気あすみが丘プラザの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

イ 千葉市緑区鎌取コミュニティセンターについて

平成25年度に千葉市緑区鎌取コミュニティセンターの指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価について、施設所管課から説明の後、意見交換を経て、部会としての意見を取りまとめ、決定した。

(2) その他

議事録の公開について、事務局から説明した。

**6 会議経過：**

○司会 おはようございます。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、お集まりいただき、ありがとうございます。

定刻となりましたので、ただいまより平成26年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回緑区役所部会を開会いたします。

私は、本日の司会を務めさせていただきます。緑区地域振興課地域づくり支援室の安藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の会議でございますが、市の情報公開条例第25条に基づき、公開とされております。

ただし、一部、非公開の部分がございまして、あらかじめご承知おきください。

なお、現在は、傍聴人の方はいらしておりません。

本日は地球温暖化防止の取り組みの一環として、職員は軽装とさせていただきますので、ご了承ください。

それでは、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。

まずは、公認会計士でいらっしゃいます木頭信男部会長でございます。

○部会長 木頭です。よろしくお願いいたします。

○司会 続きまして、千葉大学法経学部准教授でいらっしゃいます小川真実副部会長でございます。

○委員 小川でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 続きまして、弁護士でいらっしゃいます鶴見泰委員でございます。

○委員 鶴見でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 続きまして、鎌取コミュニティセンター運営協力会会長でいらっしゃいます豊田洋祐委員でございます。

○委員 豊田です。よろしくお願いいたします。

○司会 最後に、あすみが丘プラザ運営協力会会長でいらっしゃいます森山源次委員でございます。

○委員 森山です。よろしくお願いいたします。

○司会 以上、5名の皆様でございます。

続きまして、事務局職員をご紹介させていただきます。

大野区長でございます。

○緑区長 おはようございます。よろしくお願いいたします。

○司会 続いて、地域振興課職員です。

渡辺地域づくり支援室長でございます。

○事務局 おはようございます。渡辺です。よろしくお願いいたします。

○司会 藤崎主任主事でございます。

○事務局 藤崎でございます。よろしくお願いいたします。

○司会 それでは、開会に当たりまして、緑区長の大野からご挨拶を申し上げます。

○緑区長 改めまして、皆様、おはようございます。

区長の大野でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、お忙しい中をご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

また、委員の皆様におかれましては、日頃から市政はもとより、緑区に対しまして、温かいご支援、ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りいたしまして厚く御礼を申し上げます。

さて、本日、評価をお願いしております土気あすみが丘プラザ、そして、鎌取コミュニティセンターの両施設でございますが、区役所といたしましては、指定管理者と連携をいたしまして、地域活動の拠点として、皆様に愛される施設となるよう努力しているところでございます。

委員の皆様におかれましては、専門的な知識・経験をもとに、両施設のサービス向上のために忌憚のないご意見等をお願い申し上げまして、甚だ簡単でございますが、挨拶とさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

○司会 区長は、次の公務がございますので、ここで退席させていただきます。

○緑区長 途中で申し訳ありません。どうぞよろしくお願いいたします。失礼いたします。

○司会 それでは、議事に入ります前に、資料の確認をさせていただきます。

まず、机の上、右側に次第、諮問書の写し、席次表でございます。また、左前に、土気あすみが丘プラザと鎌取コミュニティセンターのパンフレットが各1部ずつご用意してございますので、時間のあるときに見ていただければと思います。

続きまして、ファイルのほうをお開きください。

資料1は、千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回緑区役所部会の進行表でございます。資料2は、緑区役所部会委員の名簿でございます。資料3は、緑区役所部会で審議する公の施設一覧でございます。資料4の1から4は千葉市土気あすみが丘プラザの平成25年度の、1は指定管理者評価シート、2は事業計画書、3は事業報告書、4は計算書類等でございます。

なお、委員の皆様からいただいたご意見を踏まえ、今年度より計算書類一式を会議資料として添付させていただいております。

資料5は千葉市緑区鎌取コミュニティセンターで、枝番1から4は先ほどと同様となっておりますので、ご確認のほうをよろしくお願いいたします。資料6は、今後の流れについてでございます。

続いて、参考資料です。1は千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例、2は千葉市市民局指定管理者選定評価委員会の会議の公開及び議事録の作成等について（千葉市指定管理者選定評価委員の議決事項）でございます。3は部会の設置について（千葉市市民局指定管理者選定評価委員会議決事項）でございます。

以上をお配りしております。

よろしいでしょうか。過不足等がありましたら、よろしくお願いいたします。

それでは、続きまして、会議の成立についてご報告いたします。

本日は全委員さん出席となっておりますので、千葉市公の施設に係る指定管理者の選定等に関する条例第10条第2項に基づき、会議は成立しております。

それでは、これより、議事に入らせていただきます。

これからの議事につきましては、進行を部会長にお願いしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○部会長 それでは、次第に従いまして、議事を進行してまいります。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

議題1の平成25年度に指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についてに入らせていただきます。

初めに、千葉市土気あすみが丘プラザの年度評価を行います。

事務局より説明をお願いします。

○事務局　それでは、あすみが丘プラザの指定管理についてご説明させていただきます。すみません、座って説明させていただきます。

まず、1 ページの1 基本情報ですが、指定管理者はスカイビルサービス株式会社。指定期間は平成23年4月1日から平成28年3月31日までの5年間でございます。

次に、2 管理運営の実績についてでございます。

まず、(1)主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございます。中で、特に、3 番目のプラザまつりにつきましては、11月23、24日に開催いたしまして、多くの近隣住民の方々にもお越しいただき、来場者が約6,500人と盛況をいただいております。

②自主事業につきましては、年間で38事業が実施されました。なお、この実施事業数につきましては、事業名のところは25個の事業が記載されておりますが、実施日が5日間あるようなものは5事業とカウントをしておりますので、それを含めて38事業ということでご報告させていただきます。

特に、事業名の上から三つ目、プラザ音楽祭では7サークル、150名に出演していただき、観客及び参加者ともに大いに楽しんでいただくとともに、運営については、地域リーダーの育成にも寄与することができました。また、下から四つ目、歴史講座につきましては、地域の歴史や文化を学ぶとともに、地域への愛着、地域交流の促進を図ることができました。

次に、2 ページをごらんください。(2)利用状況ですが、平成25年度の利用者数は、目標値が9万1,890人に対し、実績は10万5,128人で、目標達成率は114.4%。前年度比では98.8%でございました。対前年度比が多少落ち込んでおりますが、これは、台風と大雪による影響と考えられております。稼働率は39.9%で、目標である36%に対して3.9%の増となっております。対前年では、自主事業の拡充などにより、1.5%のプラスとなっております。

次に(3)収支状況につきましては、収入合計額が6,144万8千円で、支出決算額合計が6,143万9千円。したがって、収支の決算額は9,259円のプラスとなっております。

(4)指定管理者が行った処分の件数、これは施設の貸し出しにおける許可ですが、記載のとおりでございます。

(5)市への不服申立て、(6)情報公開の状況については、該当はございません。

次に、3 ページをごらんください。3、利用者ニーズ・満足度等の把握についてでございます。

まず、(1)指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてですが、アンケート調査は、年2回全利用者を対象に実施しております。ご覧のとおり、調査の結果といたしましては、概ね良い評価をいただいております。ただし、施設利用料金と予約方法や申込方法については、他の項目と比較すると、「やや悪い・悪い」、「不満・非常に不満」と思っている利用者が多くなっています。

しかし、予約方法へのこの不満等について、昨年の同アンケート調査と比較いたしますと、昨年の一回目は、この「やや悪い・悪い」を含めて17%だったものが、今回は15.8%、二回目の「不満・非常に不満」というのが、この8.2%と4.6%を足して12.

8%ですが、昨年は21%でございましたので、これを対前年度で比較しますと、若干ですが、ご不満という方が減っていると分析しております。

昨年の11月に施設予約システムを導入し、一部改善を図ったところではございますが、依然、不満とされている方がいらっしゃいますので、引き続き改善を検討して参りたいと考えております。

また、③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応についてですが、1番目に記載しております、赤ちゃんのおむつ替えのスペースを各階に設置してほしいとのご意見をいただいたのですが、これについては改善が図られまして、1階と2階にベビーシートを設置し、施設利用者の利便性の向上を図ることができました。

駐車場が足りないというご意見につきましては、毎回ご指摘を受けているのですが、引き続き譲り合いでのご利用をお願いするとともに、大きなイベント時には、近隣の小中学校の駐車場をお借りしたり、近隣の民間駐車場を借用するなどの工夫を図っております。

次に、(2)市に寄せられた意見、苦情ですが、市長への手紙を1件いただきました。寄せられました内容は、あすみが丘プラザ体育館の利用について、利用者がストレッチ等を目的に来館されたのですが、その目的では、お貸しできないということでお断りしたというものです。体育館については、競技種目が決まっているため、競技種目以外のご利用ができないことと、諸室においては個人利用できないという様に定められておりましたが、平成26年4月1日からは、条件付きではございますが、個人利用ができるということをご説明し、ご理解をいただいております。

次に、4の指定管理者による自己評価につきましては、施設の維持管理は、年間13件の施設維持修繕を実施しました。施設の適切な維持管理と利用者の利便性の向上を図ったこと。また、自主事業は、当初30事業を計画しておりましたが、その全てを実施するとともに、計画外の8事業を含む、38事業を実施し、利用者より高い評価を得ることができたというふうに自己評価しております。

次に、5、市による評価ですが、評価は、3段階の真ん中であります「A」という評価といたしました。

理由といたしましては、施設管理業務は、おおむね仕様・事業計画どおりに実施され、利用者数は昨年度実績を多少下回ったものの、目標数値は達成しており、稼働率については、昨年度の実績及び目標値を上回る結果となっております。また、サークル代表者会議、利用者・地域住民の意見を聞く会を開催するなど、利用者の意見を取り入れた運営を目指し、プラザまつりにおいても円滑に事業を行ったこと、さらに自主事業は、計画外事業も積極的に実施しており、稼働率の向上にも貢献したことなどからこのような評価をいたしました。

続きまして、4ページをご覧ください。履行状況の確認につきましては、ご覧のとおりでございます。中でも、3と評価させていただいた部分ですが、4ページの中ほどでございます、市内産業の振興の項目のうち、常設美術館・ミニコンサートホールの設置については、コンサートが26回、展示が9回実施されているため、3と評価させていただきました。

続きまして、その下、千産千消の推進につきましては、フリーマーケット及びプラザまつりで地元農家による出店を図るなどを実施しておりましたので、「3」と評価しております。

す。

続きまして、4ページ目の中段、雇用の考え方のところの障害者雇用への配慮という部分につきましては、障害者の方を1名雇用しておるため、3と評価いたしました。

4ページの下段の、複合施設の場合の管理協力関係、複合施設を含む近隣施設との連携関係の考え方の項目のうち、近隣施設との連携につきましては、近隣小学校及び土気公民館との事業の広報や備品、駐車場の借用などの連携を図っているため、3と評価しております。

続きまして、5ページの上段でございます、利用者支援の項目のうち、公民館機能につきましては、自主事業で歴史講座、健康講座や介護教室など、学ぶための講座などが充実しているため、3と評価しております。

5ページの下段のほうでございます、自主事業の効果的な実施の項目で、特定の年代や性別に偏らず、世代間交流を考慮した事業及び自主事業の実施状況につきましては、講座数及び内容が充実を図っているため、3と評価しております。

その他の項目については、おおむね仕様、事業計画どおりの実績・成果が認められ、管理運営が良好に行われているので、全て2と評価いたしました。

よって、次のページの一番下に書かれておりますが、3点とした項目は7項目、2点とした項目が94項目、1点とした項目はゼロでございます。したがって、全ての項目の評価の平均としては、計算しますと2.069となりますが、小数点第2位を四捨五入しておりますため、2.1となります。

土気あすみが丘プラザ指定管理者評価シートの説明は以上でございます。

よろしく願いいたします。

○部会長　　ただいま、施設所管課から説明がありましたが、年度評価では指定管理者の倒産、撤退のリスクを把握することになっております。これから計算書類等を基に指定管理者の財務状況等に関する意見交換を行うこととなりますが、一部の資料は一般には公開されていない法人等情報を含んでおり、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する不開示情報となりますので、同条例第25条ただし書の規定により、ここからの会議は非公開となります。

なお、その後に行います指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等に関する意見交換については再び公開となります。

それでは、私より、指定管理者の財務状況等に関して、計算書類等をもとに意見を述べたいと思います。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉県情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人情報)が含まれているため、表示していません。)

○部会長　　それでは、私から。自主事業が赤字になっていますね。これはずっと継続してこういう形でこういう赤字になっているのですか。

○事務局　　昨年も、収入が32万8千円に対して、支出41万3千円で赤です。自主事業だけ見ますと。今年も、記載のとおり、赤字となっております。

○部会長　　自主事業が赤字であると市への還付金が難しくなると思います。ぜひ、スカ

イサービスで種々検討していただいて、黒字になるようなことを考えてもらいたいと思います。

○事務局 自主事業という枠組みで主催している事業ですが、儲けようとの考えはなく、多くの方に来ていただいて施設をまずは知ってもらうことを目的に自主事業を組んでいると思います。費用を掛けずに多くの方に来ていただくためにやっています。

そうすると、講師への謝金などへの費用がどうしても膨らんでしまって、実態としては赤字になっている状況です。

稼働率が40%に届かない施設ですので、もっともっと地域の方々に知ってもらい、施設を使っていただくという目的で自主事業を幅広く実施しているのが実情であり、ご理解いただきたいと思います。

○部会長 私の記憶では、他の部会で結構、黒字を出しておりまして、市への還元もずっと継続している、そういう施設もありますので、工夫次第では、黒字にできると思います。

○委員 すみません、それに伴って1点確認したいのですが、この自主事業については、諸室や体育館の利用料金というのは、計画と実績共に指定管理者の持ち出しという理解でいいのですか。

○事務局 そうです。持ち出しとなります。

○委員 早い話、指定管理者のおごりですね。

○事務局 部会長のおっしゃるとおり、民間の会社では、受講生から会費を集めて実施するようなイベントを多く実施しているところもあると思います。実質的には、やり方の問題になると思います。

○委員 他の部会の動向を私はよく知らないのですが、大企業の社会貢献の一貫で自主事業をやってもらえると一番ありがたいと思います。

自主事業で、金儲けのようなことはしてほしくはないのですが。

○部会長 確かに、そうですね。

○事務局 数十万ですので、それはもう社会貢献として、ご理解を頂きたいと思います。自主事業で黒字にする場合は、お金を取らなければならないので、お金を取ってまでその事業をやるかどうかという判断になります。施設に来てもらうためには、安くまたは、無料が好ましいと思います。施設の宣伝にもなりますので・・・。

○部会長 そうですね。自主事業で面白い事業をやっていますよね。

○事務局 そうです。

○委員 私は地元であすみが丘プラザをずっと見ているのですけれども、スカイビルサービスは3年目ですね。

○事務局 そうです。

○委員 最初は稼働率も悪かったし、収入も悪かったと思います。昨年までは、毎月10万円ずつ上納していた部分もありました。

自主事業に金を出して、たくさん来てもらうという方向で改善されている部分はあると思います。

だから、今、説明があったように、利用者やサークルに参加している人に還元することによって、トータルで地域や市民のためになっていると思います。なるべく多くの方々に

使ってもらうことで良いと思います。

○事務局　そうですね。

○委員　そういう面で自主事業について、もっと違うところに金を出して地域のプラスに、そして利用状況をアップするような方法を考えてもらいたいです。昨年も議論したと思いますが、子どもとか若い人の利用促進を考えた自主事業をされたらいいんじゃないかと思っております。

○事務局　そうですね。あすみが丘プラザについては、主に高齢者や時間のある主婦とかに使っていただいております。あすみが丘プラザについては、若者を呼ぶようなイベントやロビー展示など色々な事業を実施しております。昨年よりは、改善できていると思います。

○委員　公民館が有料になるとのうわさが出ているのですが。

○事務局　公民館については、平成28年度から施設の有料化が検討されております。まだ、正式な決定ではありません。

○委員　今は、まだ公民館の方に利用者も流れているし、今後は地域の利用者については、来年くらいから少し考えないといけない時期にきていると思います。学校については、越智小学校、大木戸小学校や土気小学校は児童数が減っていますよね。

○事務局　はい。減っていると思います。

○委員　児童数が少なくなっている学校の利用方法などを見直すと良くなると思います。土気地区については、総合的な施設のあり方を見直す時期に来ていると思います。

○事務局　そうですね。学校を含めた施設の統廃合や、公共施設の有効的な活用方法について検討を進めております。

公民館については、地域の拠点施設ということでもありますので、越智は越智地区で、土気は土気地区でより近い住民の方々に使っていただきたいと思います。

あすみが丘プラザについては、もっとエリアを広くした地域住民に使っていただくというような施設であると思いますので、公民館とのすみわけは必要であると思います。おのずと事業も工夫をしていかなければならないと思っています。

○委員　公民館は指定管理者になっているのですか。

○事務局　平成28年度から指定管理者制度の導入について検討を進めていると思います。

○委員　公民館は、近所の方が利用しているからいいと思うのですが、施設が有料化となったらバランスが変わってくると思います。

○事務局　越智公民館の隣に越智いきいきセンターがあるので、高齢者はいきいきセンターを使用されているようです。土気公民館についても、土気いきいきセンターがあるので、高齢者はいきいきセンターを利用されているようです。

○委員　年寄り自動車は運転できない人が多いため、足がない。緑いきいきプラザには土気方面からのバスがないため、利用したくても利用ができない。越智公民館、越智いきいきセンターも同様にバスの本数が少ない。

これからの施設の利用については、全体の利用度と周辺に住んでいる人の状況（高齢者や子どもなど）も考えて対応をしていかなとけないと思います。

○委員　とても建設的な意見ですよ。市にとっては辛らつですけども。



○事務局　そうですね。交通網について言われてしまうと、ここで話ができない部分もありますが、ご指摘を頂いた部分も考えていかないと、施設運営に影響が出てくる問題であると思います。

○委員　あすみが丘プラザについて、平成25年度の資料で、収支実績が9,000円となっています。前回の平成24年のときには121万7,000円なのですが、これだけ減ったのは、何か、特段の理由があるのですか。

○事務局　去年と今年で比べると、人件費が大幅に違っております。平成24年度については、収支計画に比べて人件費が下がっており、今年度については、収支計画どおり支出しているところから、差額は人件費部分と考えております。

○委員　指定管理者が考えて実施したのですか。

○事務局　はい、そうです。

○委員　それは、どの様な内容ですか。

○事務局　平成25年度は、社員を1名、雇用しております。10名だったところを11名にしております。

○委員　市から、お願いしたのですか。

○事務局　いいえ。そんなことはありません。指定管理者の判断で施設維持管理を担当する職員を1名雇用しております。このため、平成25年度については人件費が平成24年度より上がっております。平成24年度については、10人で施設運営をしていたので、それほど計画額を上回ることはありませんでした。

○委員　去年は利益の還元はあったのですか。

○事務局　利益の還元はありました。

○委員　一昨年も人件費は少なかったのでは。辞めた人の補充ですか。

○事務局　平成25年度に新たに雇用しております。

　　兼取とあすみが丘プラザを比較すると、人件費が違っております。あすみが丘プラザは社員が多い施設で、兼取コミュニティセンターはパートさんが多い施設となっています。

　　社員を雇用すると人件費部分にはね返りというものが多く、平成25年度については、社員を増やしたことで人件費が増えているということでご理解いただきたいと思います。

○委員　施設のアンケートの状況について、確認してもよいですか。今年は清掃する人達が変わったと思います。清掃の関係について、清掃が行き届いていますかという質問に対して「やや悪い」。2回目も「悪い」と回答している人がおり、今まではなかったと思います。

○委員　業者が変わっています。

○事務局　清掃等の不満、昨年が「不満・非常に不満」を含めて1.1%、2回目が1.9%です。若干ですが増えています。

○委員　これは、張り紙が出ておりました。高齢化が進んでいるから、やむを得ないものと思いますが、見た感じで判断をしているかもしれません。年を取ったおばあさんが、清掃をしているから、それが影響していると思います。前の人は、なんでもさっとやってくれていたから。アンケートにも影響が出ていると思います。

○事務局　私たちが時々見に行っておりますが、差があるようには思っておりません。

○委員　前の人の方がよく小まめに動いていたと思います。

○部会長　　実際に作業している人の見た目だけでなく、清掃の結果にも出ているのですか。

○委員　　前の人は、汚れているところをさっとふいて、きれいにしていました。小まめに。今は、結構汚れていると思います。

○事務局　　そういうことですか。

○委員　　駐車場については、どの時間帯でどの曜日が混むのか。そのポイントを直せば、問題は解消できると思います。混むのは、土曜、日曜日は図書館に本を借りる人が多く、10時からの受け付けと重なってしまうため、駐車場に止められないという状況になっています。以前は、前のセイムスに車を止めている方がいたと思いますが、今はいないと思います。

○事務局　　看板で掲示するようにしました。

○委員　　以前は、道路の隣に東急の駐車場があったので、そこに車を止めることができましたと思います。今は道路に止めると苦情となり、プラザまつり等でも警察に通報された事例もありました。時間帯を考えれば解決できると私自身は思っています。なお、本年度に報告をいただいた駐車場を増やす取り組みについては、非常に評価しております。

○事務局　　施設規模に対して、駐車場が足りない状況となっております。月曜日の図書館の休館日以外は混んでいます。ですから、10時から始まるサークルが来ると、その間、2時間～3時間は駐車場を使います。なお、図書館の利用者も駐車場を利用されるので、常時、満車とまではいかないけれども、混んでいる状況となっております。

○委員　　曜日ですね。

○事務局　　はい。曜日で混む状況となっております。

○委員　　ダンスサークルなどの団体は、一人で乗ってきている人がいっぱいいると思います。どのようにすれば車の利用台数を減らせるか、利用者みんなで考えなければいけないと思います。年に数回、サークル代表者会議があるので、代表者に説明し、乗り合わせてくるなどの方法により、駐車場の不足問題も解消できると思います。

また、施設の修繕について、「ここを直しました」「ここを修理しました」ではなくて、「どこが悪く（故障）て、どのように直しました」と誰がみても分かるようなものを整備して欲しい。

例えば、空調機が壊れているということであれば、どこがどういうふうに使われているのか。それは今年やるのか、来年になるのか、計画的に市と相談して、市でこのように直しますというように、すぐ、説明をできるようにしてもらいたい。

○事務局　　修繕内容等について開示できるようにした方が良いということですか。

○委員　　開示ではなくて、どこを、どのように直すかを説明できるようにして欲しい。

○事務局　　修繕については、20万円未満は指定管理者が行い、20万円を超えるような修繕については、市が計画的に修繕を実施しております。

あすみが丘プラザについては、建設後21年を経過しているもので、空調機の部品交換ができないとか、様々な不具合がでています。予定としては、平成29年度に大規模な改修を予定しております。今後も指定管理者と相談しながら、建物の維持管理を計画的に実施していきますので、ご理解を頂きたいと思います。

○委員　　利用者にどのように直すかということを知らせるべきだと思います。

○事務局 はい。分かりました。悪いところについては、常時相談をしているので、「できるところ」と「できないところ」というふうにすみ分けをさせていただきます。

○委員 利用者に分かるようにして欲しい。

○事務局 わかりました。

○部会長 委員、それでよろしいですか。

○委員 はい。

○事務局 委員からご指摘を頂いたことについては、指定管理者にも必ず伝えます。駐車場に関しては、既に指定管理のほうでも統計をとってしまっていて、このサークルがやっているときには満車になるとかというのが分かっている、公共交通機関で来てもらったり、乗り合いで来てくださいというようなお願いはしているようです。

○委員 これは構造的な問題なのでしょうか。

○事務局 構造的な問題と考えております。

○委員 東急が指定管理者の時は、近隣の東急の施設にとめるのは問題がなかった訳ですね。

○事務局 はい。東急が撤退をしておりますので。

○委員 撤退せざるを得なくなって。そこまで便宜を図る必要性もなくなったのですね。

○事務局 ただ、委員がおっしゃるように、近隣の商業施設との協議も常にやっていて、なるべく協力体制をとれるようにお願いはしています。

○委員 付近に市の施設とか、何かそういうものは無いのですか。

○事務局 市の施設というものは特にありません。大きなイベントの時には近隣の小学校の駐車場を借りて対応しております。また、指定管理者から相談を受けているものでは、あすみが丘運動広場を、大きなイベントがある時には、使わせてくださいとの依頼を受け、調整をしているところです。

○委員 運動広場からだと20分はかかりますよ。

○事務局 15分ぐらいです。約1キロです。

○委員 私は歩いています。お年寄りなら20分では来ないと思います。

○事務局 そうですね。皆さんは運動広場にとめて一人が送迎するとか、一台を近くに置くなどの工夫が必要となります。また、送迎バスなども考えて良いかもしれません。

○部会長 何か工夫が必要かもしれませんね。

○事務局 新たに駐車場を確保することは難しいので、近隣施設の協力を得ながら工夫をしていく必要があります。

○委員 建物は東急が建設し、千葉市に寄付をしたものですね。

○事務局 そうです。

○委員 もう、構造的な問題でしょう。

○事務局 そう思います。

○委員 いいですか。評価シートのほうで褒めるべきところを述べたいと思います。

○事務局 ありがとうございます。

○委員 資料4-1の市内産業の振興のところで、ロビーにてミニコンサートを実施、年26回、ロビー展示会9回とあるのですが、これは自主事業でいいのですか。これはサークルがやったのか、それとも指定管理者が実施したものか。

○事務局 サークル等の希望を聞いて、一緒にやっております。施設としては利用者を増やすための事業を誘致して、協力してやっているから、もっと評価してあげてもいいのかなと思っています。

○委員 無料でコストのかからない知恵と創意工夫を生かしたイベントを頻度も多くやっているということは、評価に値すると考えます。それをもっと評価できるような評価シートの仕組みだったら、なお、良いと思います。

○事務局 ありがとうございます。

○委員 収支計画のところは、もう少し利益が出てもらえると良いと思います。あとは、稼働率の低い調理実習室についても、自主事業を積極的に取り組んだ努力の足跡は認められると思います。引き続き、その点についても力を入れていただいて、改善に努めていただきたいと思います。努力と成果は非常に認められます。

あと、資料4-1の5ページ目の利用促進のところは、市の評価についてですが、情報誌、チラシ等の作成・配布について、プラザだよりを毎月発刊しておりますとなっており、毎月発刊しているのだから、2ではなくて、3にしてもいいような気がします。市のモニタリングに対して、選定評価委員会の一委員としては、もう少し良い評価を与えてもいいのではないかと提言したいと思います。毎月、情報誌などを作るのは大変な作業だと思います。

○事務局 そうですね。また、今年からですが、「プラザだより」とは別にプラザの周知を図るためのチラシを町内会自治会に配布したりしているので委員の言うように、もっと評価を加えてもいいのかなとは思っています。

○部会長 この評価の問題で、この施設は1がなくて、3が8つですか。そうすると、ちょっとこういう状態であっても差がつかないということは、差をつけることは非常に難しいと思います。

だから、私は、S、A、Bよりも平均点で評価したほうが、かえって差がつきやすく良いのではないかと考えております。

○事務局 この評価の仕方については、市一律の評価なので、今年度についてはこの評価シートで、点数で、平均点でということをご理解いただきたいと思います。

○委員 これは市民総務課の問題じゃなくて、もっと上のところがしっかりしてほしい問題ですね。現場の意見を尊重してほしいという面があります。これはずっと5年間申し上げているのですが・・・。

○事務局 そうですね。

○委員 やっぱり扱う部局によって、部会によって施設が違うので、その辺は鑑みてほしいと思います。一律に簡便な評価シートを作るというのも、分からない訳ではないのですが、実態を反映していないと思います。

コミュニティセンターというのはそれぞれ地域性があると思います。あすみが丘プラザについては、東急さんが建てたものを市に無償譲渡されたものを活用しているとか、区役所に隣接しているとか、施設ごとにいろいろと条件が違うじゃないですか。大枠は今のままで良いのかもしれないけれども、細かいところについては、現場の知恵を反映させるような仕組みにして欲しいと思います。

○事務局 はい。そう思います。

○委員　　ちょっと気になっているのですが、予約方法なんですけれども、これは改善したという割にはまだ悪い意見が多いのですが、これは何か、思い当たるところはありますか。

○事務局　　理由というのは、今までは、その日その日で抽せんを10時にやっていたのですが、11月1日からは、施設予約は1日から10日までの間に申し込んでいただいて、11日に抽せんして貸し出すように変わりました。重なったところは、もちろん抽せんとなりますが、あとは先着順というような予約方法に変わっております。今までは、「自分の使いたい日に毎月申し込みに来なければならない」というデメリットがありました。

変更後は、「申込みは月一回で良い」とか、「インターネットでの申し込みができる」と変わったのですが、利用されている方々が高齢の方が多いので、新しいシステムに変わったということで、受付で申請に時間がかかったりとか、コンピューターを使って予約方法ができないとか、そういった内容の苦情というか、予約システムに慣れていない状況から、アンケートの回答が良くなかったと考えています。

ですから、来年のアンケートでは数値は改善されるものと思っています。使い勝手も良くなり、予約システムにも慣れてくれば、予約方法については改善されるものと思っています。

○委員　　指定管理者に当たることではないでしょう。

○事務局　　そうです。

○委員　　市の問題なのでしょう。

○事務局　　予約システムについては、市の問題です。

○委員　　それは、新しくルール改正するわけだから、現場を飛び越えて。

○事務局　　そうです。

○事務局　　現場に怒られますけれども。

○事務局　　予約システムの導入で指定管理者は大変であったと思います。

○委員　　それであれば指定管理者の評価の中に組み込むのは乱暴だと思うのですが。

ちょっと確認したいのですが、やっぱり体育館の利用というところについて市に寄せられた苦情がありますよね。

○事務局　　はい。

○委員　　用途が定められていて、ストレッチ等でもだめだったのですか。

○事務局　　体育館については、卓球、バスケットボール、バレーボール、バトミントンなど、種目が限られていて、個人で体育館については使えるようにはなっているのですが、基本的には指定管理者側で種目を定めて体育館の個人利用を行っております。

ストレッチということで来ているのですが、雲梯というか、棒みたいなものストレッチをしたいというようなご要望をいただいたのですが、安全の確保が図れないとの判断及び種目が体育競技ということで限られていることを説明し、体育館の利用をお断りしました。苦情を受けたのが、2月下旬から3月ぐらいだったと思うのですが、4月1日から諸室の個人利用を認めるというところがあったので、当日に諸室が空いていれば借りることはできるので、諸室等でお願いますということでご理解いただいたというのが実情です。

○委員　　全体を通して思うのですがけれども、先ほど部会長からも話が出たのですが、指定管理者に対する市の評価は結構緻密にまとめています。その割には評価になっていない。

そこはもう少し見直してほしいなと思います。積極的によくやっている事業者だと思います。

○事務局　そうですね。

○委員　自主事業についても、教室の受講料を取らずに、自腹で開放して、積極的に施設の認知度、PRをするという草の根活動からやっておりますし、これだけ作文ができるのであれば、もう少し市も指定管理者の励みになるような好意的な評価を与えてもいいような気がします。

それだけ書きやすい話があったということで、全く書いてないところもありますよ。他の区役所部会になります。それに比べてれば良くできていると思います。

利用促進のところでも、調理実習室を活用したプログラムが6事業も開催されているのは顕著なものだと思います。あと、若者の利用促進についても、卓球大会を単独大会ではなくて、中学生や大人を含んだ大会にしていることも評価して良いと思います。

○事務局　そうですね。

○委員　評価委員会は割と辛口だから、市も少し厳しい目にならないといけないのかというふうに思われているのかもしれませんが、これだけいろいろと拾い上げられる話があるのですから、もうちょっと積極的に評価してもいいなと思います。

○事務局　はい。昨年も同様のご意見をいただいております。今年は3をつけるよう意識してモニタリングを実施しております。

○部会長　ちなみに、施設管理者がS評価を受けたケースはございますか。

○事務局　今年度、Sをつける施設があるように聞いていますが、具体的な施設名などは、確認できておりません。

○委員　この施設は、本当に事業者、経営母体、経営基盤が確立している会社が運営してくれているので、この社会貢献の一環というのが強くて、理想的だと思います。

○事務局　そうですね。

○委員　今回スカイビルさんに代わって、予想以上に結果を出してきてくれているし、努力しているなというのが伺えます。

○事務局　私もそう思っております。委員さんからのお言葉をスカイビルサービスに伝えます。

○委員　自主事業をいろいろ企画して、運営して、大変だと思います。

○事務局　サークルや利用者の方々との会議も小まめにやっていて、多くの方に利用してもらおうような努力をスカイビルサービスはやっていますので、その点は評価してあげないといけないと思っています。

○委員　経理の内容を見ても、妥当です。正しい委託料の使い方だなというふうに納得ができる内容です。

○部会長　私もそう思います。ほかに、この施設に関して、ご意見はございますか。

(なし)

○部会長　それでは。

○事務局　すみません、時間の関係もございますので、一応、本来ならばまとめなければいけないんですが、ご意見の取りまとめについては、部会長さんと議事録の確認もあるので、昨年同様にできれば議事録と併せて、皆様のご意見の確認をさせていただきたいと

思うのですが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○事務局 ありがとうございます。

○部会長 それでは、先ほどの財務状況も含め、千葉市土気あすみが丘プラザの指定管理の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整することでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 施設所管課におかれましては、本部会で委員の皆様から示された意見を、今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

○事務局 はい、わかりました。

○事務局 ありがとうございます。5分間ぐらい休憩させていただいてよろしいですか。

(休憩)

○事務局 鎌取コミュニティセンターについてご説明、よろしいでしょうか。

○部会長 はい。

○事務局 では、説明させていただきます。資料は、5-1のところです。

まず、1 ページの1、基本情報ですが、指定管理者は株式会社千葉マリスタジアム。指定期間は、同じく平成23年4月から平成28年3月31日までの5年間となっております。

次に、2、管理運営の実績についてでございます。

まず、(1) 主な実施事業の①指定管理事業につきましては、ご覧のとおりでございますが、特に、三つ目のコミュニティまつりにつきましては、2月22日と23日に開催いたしまして、多くの近隣住民の方々にお越しいただき、来場者数は4,200人とお伺いしております。

②自主事業につきましても、用具の貸し出しなど通年実施を3事業、その他の事業が25事業実施されており、各事業の概要はご覧のとおりでございます。

特に、表の8段目の七夕飾りでございますが、館内の飾り竹に自由に短冊をつけていただく企画を実施したところ、大変好評を得ております。参加者も昨年を上回る982人と、高齢者から子どもまで、大勢の方に参加していただきました。当日は緑区地域振興課主催の都市農村交流事業を実施したのですが、相乗効果があったと思っております。

続きまして、2ページの(2)利用状況ですが、12万4,930人で、前年度比98.9%となっております。また、稼働率につきましても43.3%で、前年度より1.3%ほど下がっております。これらの減少につきましては、先ほどと同様、台風と大雪、これに関連して59件の返還があったという報告を受けておりますので、稼働率が下がった原因と考えております。

続きまして、(3)収支状況でございますが、収入の決算額が8,289万1千円で、支出の決算額が8,282万3千円。収支の決算額は6万8千円のプラスとなっております。

(4) 指定管理者が行った処分の件数、これは、先ほどと同様、施設の貸し出しにおける許可ですが、記載のとおりでございます。(5) 市への不服申立てもございません。(6) 情報公開の状況についても、開示請求はございませんでした。

続きまして、3 ページの3、利用者ニーズ・満足度等の把握についてでございますが、まず、(1) 指定管理者が行ったアンケート調査の結果についてですが、こちらのアンケート調査は、年2回全利用者を対象に実施しております。

調査の結果といたしましては、概ねよい評価をいただいております。こちらにも同様に、予約システム、予約方法のところで、「ご不満・非常に不満」という部分がありました。また、2回目のアンケートでは、質問2の予約システムについての(1)、予約システムの使いやすさはどうですかというご質問に対して、「使いやすい」という方が199人、「使いづらい」という方が95名おられました。昨年の11月より、先ほどご説明しましたように、予約システムが導入され、その移行期の初期によるものも含まれているものと考えておりますが、引き続き状況を注視していきたいと考えております。

また、③アンケートにより得られた主な意見、苦情とそれへの対応ですが、こちらにも新予約システムがわかりづらいというご意見をいただいております。これにつきましては、電話で1件1件、お互いに画面を見ながらパソコンでご説明をさせていただくことによって、徐々にですが、その苦情の件数が減ってきているというふうに報告を受けております。

また、空調に関してですが、臨機応変に空調をつけてほしいというようなご要望を多くいただいております。今年度は、前年度のように何度になったらという詳細な設定ではないのですが、空調をつける状況を緩和して、改善を図りました。全ての利用者にご理解をいただくことは難しいと考えております。

また、駐車場について、いつも満車というようなご指摘を受けているのですが、こちらにつきましても、1時間ごとに駐車場を巡回して、短時間駐車や公共交通機関の利用のご協力をお願いするなど、改善に努めております。

続きまして、(2) 市に寄せられた意見、苦情ですが、ご覧のとおり1件の苦情をいただいております。

その内容は、障害者マークを付けていない車が障害者スペースに止めたことで、警備員がそれを見ておまして、利用者に「そのスペースは障害者用の駐車場です」との問いかけをしたところ、実際には障害者のお子様がいらっしゃったということで、車にその表記が無かったために警備員がそれをわからずに聞いてしまったことが不快だとの苦情です。私もよく知らなかったのですが、調べますと、車に張るマークについては法的な義務があるわけではなく、任意との扱いになっております。障害者マークを貼ることはその方の自由ということになっているようです。

ただ、一般市民の方から、身障者用駐車スペースに利用可能である旨の表示がされていない車が止まっていると、そちらもまた満車状態の中でトラブルになりますので、その改善策として、受付に申し出ただき、「駐車許可証」を発行し、車に掲示していただくよう改善を図り、ご理解をいただきました。

次に、4、指定管理者による自己評価の部分でございますが、施設維持管理業務については、概ね計画どおりに実施することができました。自主事業については、計画した13事業全てと、計画外の15事業を実施することができました。施設管理運営について、利用者からは、概ね好評を得ることができました。図書館や地域団体との連携した事業を実施することにより、地域コミュニティの促進を図ることができたと自己評価しております。

次に、4 ページをご覧ください。5の市による評価でございますが、こちらにも3段階評



価中、真ん中である「A」とさせていただきます。

理由といたしましては、管理運営は、概ね仕様・事業計画どおりに実施されており、コミュニティまつり等事業についても、関係団体との密接な連絡調整を実施し、昨年度の利用者数を上回ることができたこと。

また、自主事業についても、計画事業を全て実施し、図書館等とも連携を図るなど、積極的に取り組んでいることを評価したものでございます。

続きまして、履行状況の確認につきましては、ご覧のとおりでございます。こちら、昨年は全てBでしたが、今年度は3という評価を一部つけさせていただいております。

3と評価させていただいた項目は、4ページ中段にあります、市からの受託業務、コミュニティまつりの実施という部分ですが、指定管理者の様々な努力により、来場者数が500人増加したという報告ですので、3と評価させていただいております。

あと、二つ下の複合施設の場合の管理協力関係、複合施設を含む近隣施設との連携関係の考え方の項目のうち、複合施設との連携については、図書館との連携による事業の充実が図られたことを評価し、3と評価しております。

また、二つ下でございます利用者サービスの向上の項目でも、ロビーでの新聞の提供で、今年度より、日刊スポーツ紙を追加したことを受けて、3と評価しております。

続きまして、5ページの中ほどに自主事業の効果的な実施の項目でございますが、先ほど申し上げましたように、自主事業については計画事業13事業プラス計画外を15事業実施していることから、3と評価しております。

少し下の、設備及び備品の管理、清掃、警備の項目の、三つ目の美観の保持についてですが、大分年数が経ってきて、歩道上の木とか、周りの花壇の木が大きくなってしまして、樹木の剪定など頻繁に実施していただいたことや、花壇の手入れ、駐車場及び周辺のゴミ拾いなども積極的に実施していただいたことから、3と評価しております。

5ページの下段で、緊急時の対応の項目で、社員研修の実施でございますが、9月1日に千葉市全域で実施しました防災訓練の実施や、緑区内の34カ所でございます避難所運営委員会も鎌取コミュニティセンターは該当しておりまして、運営委員会のメンバーとして、指定管理者が積極的な参加をしていただいたということで、3と評価しております。

よって、次ページにその集計が書かれておりますが、3点とさせていただいた項目は6項目、2点とさせていただいた項目は74項目、1点と評価した項目は0項目でございます。

全ての評価を平均いたしますと、こちらに、2.1と記載しておりますが、計算しますと2.075ということで、第2位を四捨五入して2.1と評価させていただいております。

鎌取コミュニティセンターのシートの説明は以上でございます。

よろしく願いいたします。

○部長 とうもありがとうございました。

それでは、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、指定管理者の財務状況等に関して、意見交換を行いたいと思います。先ほどと同様に、ここからは非公開といたします。

それでは、指定管理者の倒産、撤退等のリスクを把握するという観点から、指定管理者

の財務状況に関して、財務諸表をもとに、私から意見を述べたいと思います。

(※財務状況等に関する意見交換の経過については、千葉市情報公開条例第7条第3号に該当する情報(法人情報)が含まれているため、表示していません。)

○部会長　それでは、次に行う指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また、改善を要する点等に関する意見交換については公開とします。

では、指定管理者の施設管理運営のサービス水準向上、業務効率化の方策、また改善を要する点等について、指定管理者評価シートを元に、委員の皆様からご意見を伺いたいと思います。何かご意見はございますか。

○委員　予約状況についてなんですけれども、システムを変更し、システムに対する慣れの問題になるのでしょうか。

○事務局　そのように考えています。アンケートを行ったのが、1月、2月ということで、予約システムを開始してから2ヶ月～3ヶ月というところですので、施設利用者の方々にご理解いただけるレベルでは無かったと思います。具体的には、先ほど説明しましたとおり、「受付で待たされたり」「システムの使い方が分からない」などの苦情がありました。初期段階でのご批判なのかなと考えております。時間が経ち、職員及び利用者がシステムに慣れてくれば改善されると考えております。

○委員　わかりました。

○委員　自主事業についてなんですけど、昨年度と比べると、件数的には増えたという理解でいいですね。

○事務局　そうです。件数的には増えております。

○委員　自主事業の内容を確認させていただくと、昨年との比較になるのですが、昨年は、グラウンドテニスに力を入れたみたいですね。

○事務局　はい。

○委員　平成25年度は、グラウンドテニスが全く無くなっているのですが。

○事務局　そうです。平成25年度は健康づくりなどに変更していると思います。

実は、所長が代わっておりますので、所長の意向によっても、自主事業は違ってくると考えております。

○委員　もし、人気があるのであれば、そのような講座は定着させてもいいと思います。それがやがて、仲間づくりやサークルづくりに役立つと思います。

料理教室ですが、改善に向けて取組んでいるのは大変わかります。例えば、太巻き祭寿司教室を年4回、クリスマス料理教室を1回実施しているので、その取組みと努力は評価します。ただし、太巻き祭り寿司教室を年4回もやる必要はあるのか。5月、10月、11月、2月、マンネリ化ということは無かったのかということが気になります。

○委員　これは希望者がかなり多くて、回数を増やしたということです。意外と人気があります。これは料理実習室のスペースの関係で、毎回の定員数が決まっており、回数を増やしたということを知っております。

○委員　とても人気があるんですね。

○事務局　そのようですね。事務局より委員の方が状況を把握されております。

○委員 気になるので質問をしたのですが、郷土料理研究会というところが講師をやっているのですよね。この料理教室によって、新しいサークルができたらいいなと思いました。

○事務局 そうですね。鎌取は体験型学習が多いと思います。お年寄や若い女性向けの健康づくり、子どもや親子を対象にした自主事業を実施するなど、地域の実情を理解した内容となっていると思います。

ほかの地域と比べると子どもが多いので、子ども向けのニーズのある事業をする必要があると思います。

○委員 去年は料理教室が1回、太巻き祭り寿司が3回でした。今年はクリスマス料理教室を実施するなど工夫されていると思います。

○委員 房総の太巻き寿司、ちょっとしたブームとなっています。最近、人気が出ているようです。花の模様とかきれいでしょ。素人でもきれいにできるそうです。

○事務局 そうですか。私がやると花になりそうもないのですが。

○委員 最初からきれいには行かないですけどね。でも、ブームとなっているから受講希望者が多いと思います。

○部会長 そうですね。

○委員 コミュニティセンターと直接関係ないですけど、夏祭りを小学校の校庭で実施すると子どもが3,000人~5,000人くらい集まります。

公民館でやっている夏休み子ども教室みたいなものがあるのですが、定員が限られているので、実際に参加できる子どもの数は少なくなっています。もう少し門戸を広げて、多くの子どもたちに参加する方法を考えられないのかなと思っています。

公民館の館長に聞いてみたら、公民館の教室ではこれ以上参加人数を増やすことはできない。その受け皿として、公民館で行っているものをコミュニティセンターでも企画できないのかなと思っています。

しかし、コミュニティセンターでは自分たちで考えた企画があるわけです。例えば、七夕飾りや星空観測会とか親子で参加する企画を継続的に実施しているようです。

子どもだけを対象にして、夏休みの間にやるような企画というのは、なかなか難しいと思います。学校の先生にアイデアを出してもらおうと一番いいらしいですね。公民館には教員経験者が多くいるようです。

○事務局 公民館には退職された校長先生などが配置されております。

○委員 公民館でやっている事業などをコミュニティセンターでも実施してもらいたいのですが、今の指定管理者はそういうのはあまり得意でないから。

○事務局 あすみが丘プラザは公民館的な機能も併せもったコミュニティ施設、鎌取コミュニティセンターは純然たるコミュニティセンターということで今までずっと来てしまっているのです。教育的な事業をやるかどうかというと、今まで実施していないので、急に実施しろと言われても、実施することは難しいと思います。

社会教育施設とコミュニティ施設は同じではないと思います。鎌取コミュニティセンターでも教育的な活動をやった方がいいとは思いますが、事業計画を立てることに対してそれなりに苦労があると思います。今後、検討していくということでご理解ください。

○委員 指定管理者もなかなかアイデアが出てこないと思います。

○事務局　　そうだと思います。

○委員　　だとすると、評価が下がりますね。民間の活力を入れないと意味がないと思います。地域のニーズや実情を反映させたプログラムをつくることから、行政にはできない魅力として、指定管理者制度を導入しているわけだから、そこは、実情認識をもっとするべきだと思います。正直、指定管理者として選定した積極的な理由はないと思います。

　　そういう枠を超えて事業を考えていただきたいと思います。そのような地域性があるのであれば。

○事務局　　そこで問題となるのが、職員配置だと思います。嘱託やパートが計画を立てることは無いと思いますので、おのずと限界が出てきます。あすみが丘については職員が多いので、そういった計画を立てやすいと思います。

○委員　　社会貢献の一環で、人員も手厚く配置しているところと、営利目的でやっているところとでは趣旨が違ってきますよね。

○事務局　　自主事業としては学習系が少なく、単発で人を呼ぶための事業が多いように思います。ただし、内容はいいものもあります。

○委員　　地元のニーズがあるのであれば、それはくみ上げる必要があると思います。公民館も手いっぱいであるのは、容易に想像はつきます。コミュニティセンターを活用した方が、違う地区の子どもたちとも交流したりして、新たな相乗効果だとか生まれると思いますが。指定管理者としてはどうかというふうに思ってしまう。長年にわたって実績があるのでしょう、ほかの地区でも。

○委員　　以前から出ていることなのですが、緑区の場合だと、福祉の問題とか地域連携の問題のことで、積極的な取り組みがあると聞いております。

　　子どもの数も多いので、子どもの情操教育だけでなく、知育・食育・体育まで含めたコミュニティづくり形成ということに関心のある方がいるのであれば、そういう意見をもっと事業に反映させていただきたいと思います。

　　指定管理者側で、思いついた企画をやっているような観があるのは少し残念です。

　　これだけの意見が出ているのでしたら、そういう意見を真摯にくみ上げて欲しいと考えています。

○事務局　　委員が言ったように、おゆみ野には公民館が1つしかありません。中学校が三つあるので、本来は、公民館は3館が必要となっています。おゆみ野地区は、他の地区と比べるとバランス良くないと思います。

○委員　　これからの人口動態なんかを考えたらね、新たに作れないでしょう。

○事務局　　そうです。

○委員　　だとすると、そういう実情を考えて、コミュニティセンターが地域の状況を把握し事業を実施する必要があると思います。

○事務局　　はい。

○部会長　　会社役員に関する事項についてですが、代表取締役と常務取締役は、どこの出身ですか。

○事務局　　代表取締役は千葉市の出身だと思います。常務取締役については、存じておりません。

○委員　　局長経験者ですか。

○事務局 名前を聞いたことはありますが、所属までは分りません。

○委員 コミュニティセンターのことで確認したいことがあるのですが・・・。

市からの受託業務、コミュニティまつりについて、来場者が4,000人で、前年度比で増えたということですね。

○事務局 そうです。3,500人から4,000人です。

○委員 規模の問題ではないのですか。伸び率で判断しているのですか。

○事務局 サークルや地域の方と協力して、コミュニティまつり実施しております。

本来だと、指定管理者（受託者）が頑張らないといけないと思いますが、実際は地域の方々が頑張って運営していただいているというような形に変わってきているので、評価は上げないといけないと思っています。

○委員 土気あすみが丘プラザのプラザまつりは、6,000人となっています。

同じ様な書き方だと誤解を招くと思います。評価シートの記入について、もう一言、書き加えた方がいいと思います。同じ箇所の日付と来場者数だけが並んでいると、あすみが丘が2点で、鎌取コミュニティセンターが3点となっており、数が多いほうが2点では説明できないと思います。書き方を工夫しないと誤解を生むと思いました。

○委員 ここはサークルの加入者数はどのぐらいですか。

○事務局 約350ぐらいだと思います。

○委員 どこも悩みますよね、観客が少ないというのはね。参加者は全体となりますが、発表しているのを見る人は少ないです。

○事務局 時間によって影響があると思います。学校などが参加する場合は父兄も来るので、その時間は人が多くなります。ただし、参加者はずっとそこにいるわけではないと思います。時間帯によって多少の差は出ています。

○委員 差があるのですね。

○事務局 そうです。時間帯によって差があります。

○委員 子どもが出ているときは観客数が多いと思います。

○事務局 そうですね。

○委員 鎌取コミュニティセンターまつりは二日間やりますが、初日の開会式、これに人が来るか、来ないか。でも、開会式は満席になります。これは、地区の民生委員さんが地域の高齢者に声をかけて集めてくれているのです。100人位は来ていると思います。

これは、恒例になっているから、これからも、続くと思います。

先ほどから話題になっているのですが、地域の子どものどのように巻き込んでいくのかを我々も考えなければなりません。

現在は、既存の組織に依存していると思います。民生委員や社会福祉協議会などの協力によりコミュニティまつりが行われていると思います。

コミュニティまつりに子どもの参加を増やすため、子どもたちにどのような働きかけをしなければいけないのかを考えなければなりません。地域の小・中学校への働きかけも必要でしょう。

○部会長 委員、それでよろしいでしょうか。

○委員 はい。

○部会長 ほかに、何かございますか。

それでは、先ほどの財務状況も含めて、千葉市緑区鎌取コミュニティセンターの指定管理の行った施設の管理に係る年度評価についての本部会としての意見をまとめていくということになりますが、詳細については、私と事務局にて調整することでご承認いただければと思います。よろしいでしょうか。

(異議なし)

○部会長 施設所管課におかれましては、本部会で委員の皆様から示された意見を今後の施設の管理運営に十分反映していただきたいと思います。

○事務局 わかりました。よろしく申し上げます。

○部会長 以上で、指定管理者の行った施設の管理に係る年度評価についての審議を終了します。

○事務局 最後に、議題2のその他についてですが、今後の予定についてご説明させていただきます。

資料6を、ご覧ください。今後の予定ですが、本日、委員の皆様からいただきましたご意見につきましては、部会長さんから選定評価委員会の会長さんにご報告をいただき、その後、会長さんから市長宛に委員会の意見として答申をしていただくという流れになります。

この委員会の答申を受けまして、施設所管課が委員会の意見を指定管理者評価シートへ記載して、9月上旬までに市のホームページに掲載し公表するとともに、指定管理者へ通知をいたします。

また、今回の部会の会議録及び委員会会長からの答申につきましても、同様、市のホームページにて公表することとなりますので、ご了承いただきたいと思います。

なお、会議録につきましては、後日、委員の皆様にもご確認をお願いいたしますので、よろしくお願いいたします。

以上でございます。

それでは、すみません、長時間にわたりまして貴重なご審議をいただきまして、どうもありがとうございました。

○司会 どうもありがとうございました。

以上をもちまして、平成26年度千葉市市民局指定管理者選定評価委員会第1回緑部会を閉会いたします。

委員の皆様、本日は、どうもありがとうございました。